

# のどの細菌・ウイルスなどを殺菌 ポピシュート のどスプレー

第3類医薬品

## のどの細菌・殺菌 ウイルスなどを

# ポピシュート のどスプレー

有効成分「ポピドンヨード」配合

ミントの香り

のどの  
痛み、ハレ  
声がれに

清涼成分  
メントール配合  
でスッキリ!



第3類医薬品 30mL

**【効能・効果】**

のどの炎症によるのどあれ、のどの痛み、のどのはれ、のどの不快感、声がれ

【容 量】30mL

【成分・分量】100mL中

ポピドンヨード……………0.45g  
添加物としてヨウ化カリウム、*l*-メントール、還元麦芽糖水アム、グリセリン、プロピレングリコール、エタノール、サッカリンナトリウム水和物、香料を含有する。  
〈成分・分量に関連する注意〉  
本剤の使用により、銀を含有する歯科材料(義歯等)が変色することがあります。

**【保管及び取り扱い上の注意】**

(1)直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わる場合があります。)(4)薬液が衣服等に付着すると着色します。付着した場合はすぐに水でよく洗い落としてください。(5)携帯する時は添付のチャック袋に入れ、しっかり封をしてください。(6)ノズルの先端の穴を針等で突かないでください。使用時に薬液が出にくくなる場合があります。(7)使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。(8)温度の低い場所で保管された場合、薬液が出にくくなる場合があります。その場合は手のひらなどで温めてから使用してください。

発売元：白金製薬株式会社

〒634-0803 奈良県橿原市上品寺町515

お客様相談室 TEL:0744-21-5588

受付時間9:00~17:00(土、祝日を除く)

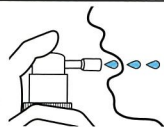
製造販売元：ダイワ製薬株式会社

〒634-0803 奈良県橿原市上品寺町515

副作用及び制度 ☎0120-149-931



**【使用方法】**

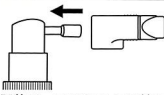


②「アー」と声を出しながら頭部を押し、患部に薬液を出るまで2~3回直射してください。

※最初は薬液が出るまで4~5回押してください。

※薬液がノズルの先端にたまった時は、液だれを防ぐため清潔なティッシュペーパー等で拭き取ってください。

※温度の低い場所で保管された場合、薬液が出にくくなる場合があります。その場合は手のひらなどで温めてから使用してください。



③使用後は、フタをもとの位置にはめてください。

※携帯する時は添付のチャック袋に入れ、しっかりと封をしてください。



ノズルの先端を針等で突くと薬液が出にくくなったり、折れた時大変危険です。絶対におやめください。

第3類  
医薬品

開封口



販売名：ポピシュート

□腔咽喉薬

ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

**△ 使用上の注意**

**⊗ してはいけないこと**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)1.次の人は使用しないでください。本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。2.長期連用しないでください。

**■ 相談すること**

1.次の人は使用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(3)次の診断を受けた人。甲状腺機能障害。(4)次の症状のある人。口内のひどいただれ。(5)妊婦又は妊娠していると思われる人。(6)授乳中の人。2.使用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるので直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
□	あれ、しみ、灼熱感、刺激感
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気
そ の 他	不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診断を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ(アナフィラキシー)あ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

3.5~6日間使用しても症状がよくならない場合は、使用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

【用法・用量】1日回数適量をのどの粘膜面に噴射塗布してください。(用法・用量に関連する注意)(1)定められた用法・用量を守ってください。(2)息を吸いながら使用すると、薬液が気管支や肺に入ることがありますので、ノズルを患部に向けて、軽く息をはきながら、2~3回直射してください。(3)本剤はのどの患部への噴射塗布だけに使用し、傷ややけどへの使用や、内服はしないでください。(4)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとで使用させてください。(5)目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合は、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診断を受けてください。



2015年9月 初版



製造番号

使用期限